

ファミリー



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

学校評価と分析について

小野市立河合中学校長 阿尾 剛

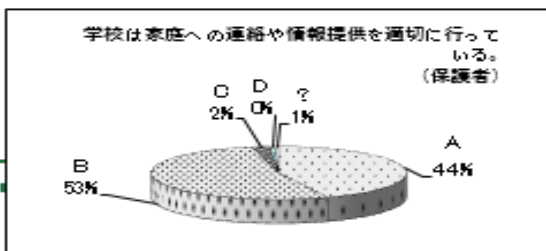
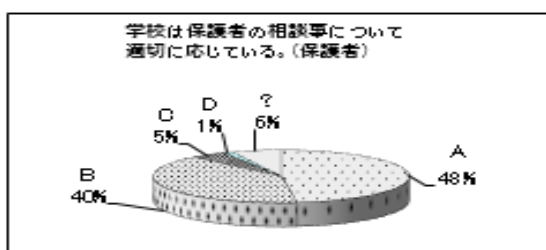
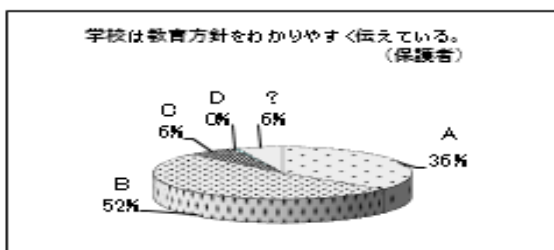
令和元年度が終わろうとしています。保護者の方には、この一年間、本校教育に多くのご協力、ご支援をいただき感謝しております。

さて、学校教育活動に関するアンケートの回答をもとに、集計結果を分析し、今後の方向性について以下のように検討しました。

アンケート結果の見方について

アンケートは6～9年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「?=判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

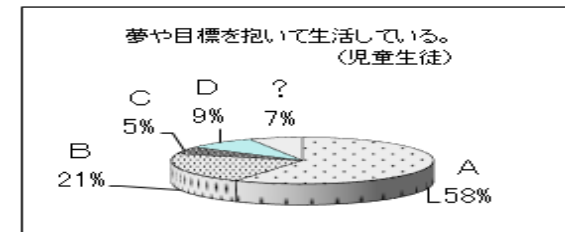
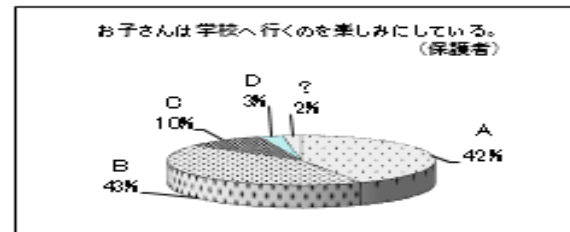
1 家庭・地域への情報提供と連携



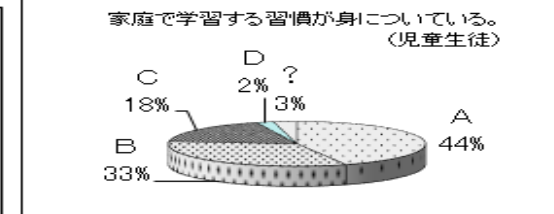
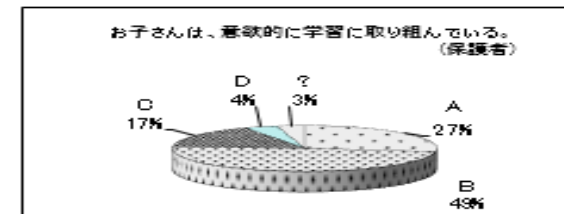
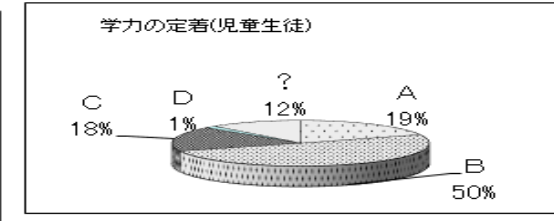
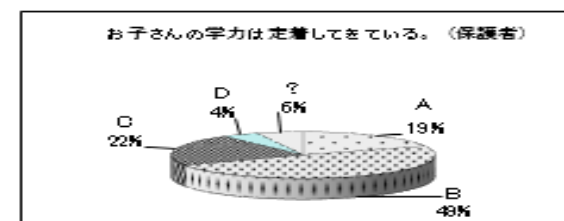
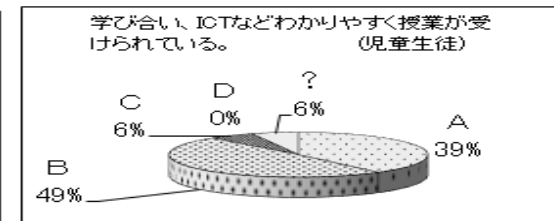
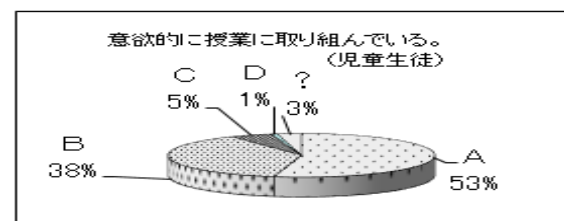
昨年度に引き続き、「教育方針をわかりやすく伝えている」と、「保護者の相談事に適切に対応している」という項目では8割の肯定的評価をいただいています。また、「家庭への連絡や情報提供を適切に行っている。」という項目でも9割以上の肯定的評価をいただいています。HP、学校だより『ファミリー』や学年通信の発行、または「マメール」による情報提供をさらに充実させて、学校の様子がよりわかりやすく伝わるようにしていきたいです。

家庭や地域と共に、児童生徒の健やかな成長を育んでいきたいと思っておりますので、本校教育へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2 学校生活の充実度

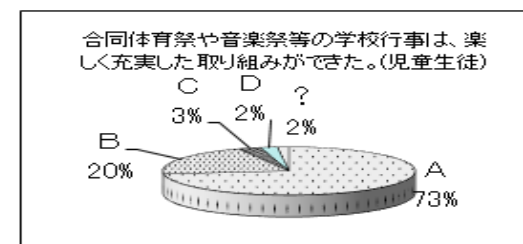


「おさんは学校へ行くのを楽しみにしている(保護者)」や「夢や目標を抱いて生活している。(児童生徒)」の項目について、8割前後の保護者の方や児童生徒が肯定的に捉えられているのが分かります。今後より一層、保護者の方のご意見や児童生徒の声に耳を傾け、成長できる場にしていきたいと思っております。



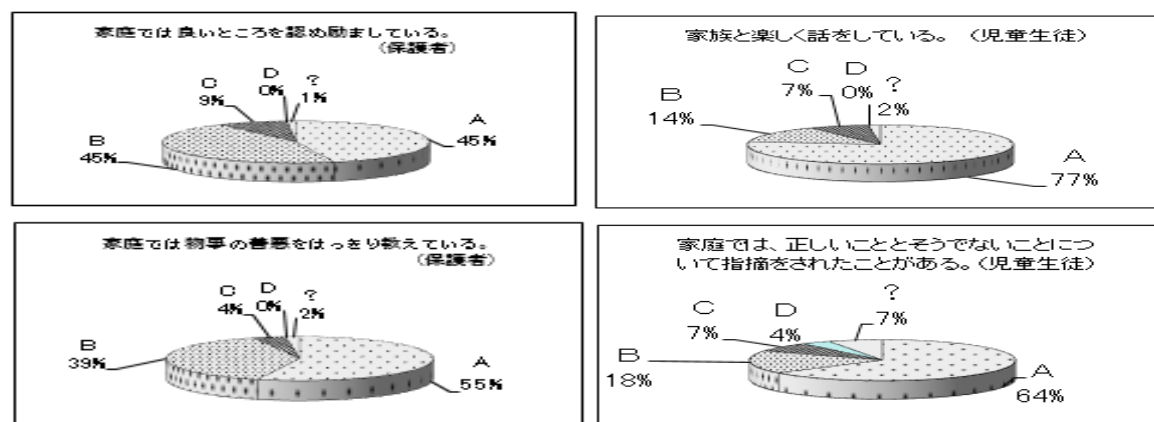
「授業への取組」については、9割以上の児童生徒が意欲的に取り組んでいることが分かります。また、「学び合いやICTなどわかりやすい授業が受けられている」についても、9割近くの児童生徒が肯定的にとらえています。どの学年も落ち着いた授業態度で、発表や授業に臨む姿勢も良く、お互いに学び合える場になっています。その一方で、「学力が定着してきている」については昨年同様7割程度にとどまっています。学力が確実に定着しているという実感につなげられるよう、学校全体で更に基礎基本の定着と授業改革に取り組んでいきたいと思っております。ご家庭でも家庭学習の取り組み方について話をしていただけると幸いです。

「学校行事への取組」については、9割の児童生徒が意欲的だったと回答しています。体育祭や音楽祭などの学校行事は、児童生徒にとって深く心に残るものです。特に、本年度は小中合同体育祭や小中合同遠足では、児童生徒が主体となって、共に創り上げることを目標に行いました。上級生がリーダー



シップを発揮し、下級生が憧れをもつなど、1～9年生のつながりが強くなるとともに、達成感を感じた様子でした。このように学校行事で主体性を伸ばし、さらにその後の学校生活にも生かす力をつけるために教師がどのように支援していくか、どのような準備をしていくかをこれからも考えていきたいと思ひます。

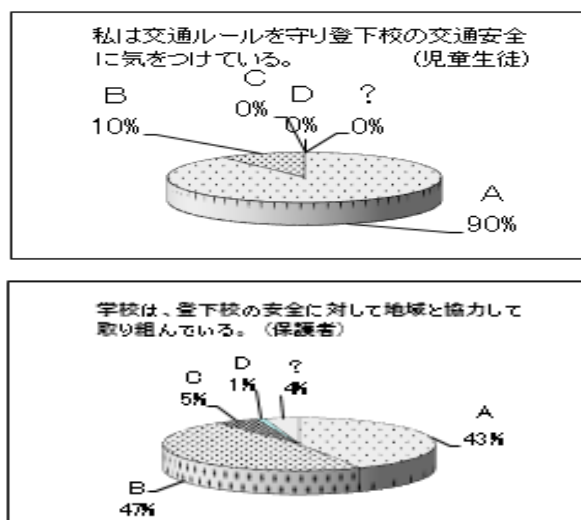
3 家族との関わり・家庭生活



毎年のことですが、上記の集計結果から本校の児童生徒は、各家庭での温かいご指導により、健やかに優しい心の成長につながっていることが伺われます。しかし、昨年同様、児童生徒たちの生活で気になることがあります。スマホでのゲームや Youtube などの影響か、学習時間や睡眠時間など規則正しい生活が送れていないと感じている児童生徒の数値が増えています。児童生徒たちは家庭で決められた約束は守ろうとしていますので、今一度、ご家庭での時間の使い方を話し合うきっかけにさせていただけたらと考えています。

4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚

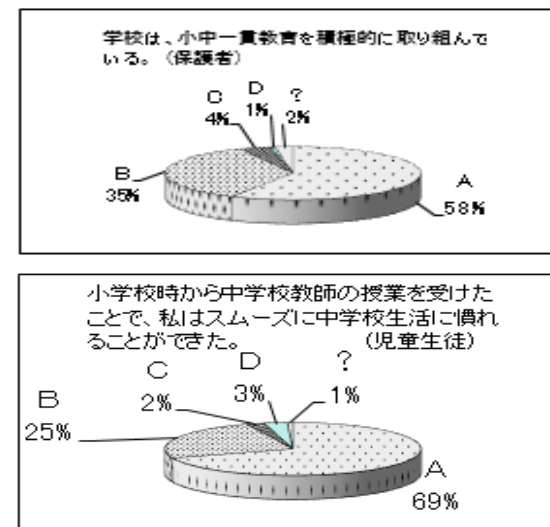
「交通ルールの遵守、安全な登下校(児童生徒)」の項目は、すべて「A=そう思う」、「B=ややそう思う」に回答しています。また「地域と協力しての登下校の安全(保護者)」の項目は、9割以上の方から肯定的評価をいただいております。保護者の方や地域の子ども見守り隊の方々にも、いつも登下校時に声をかけていただき、地域の方々によって児童生徒の安全な登下校が守られています。その安心からか、自転車の乗り方など交通マナーについて、下校指導を行った際に2列並進や交差点を乗車横断する光景を目にしました。引き続き自分の命を守るという観点からしっかりと指導していきたいと思ひます。



「防災訓練・防災意識」については、8割以上の児童生徒が高まったと回答しています。今年度は緊急対応訓練(アレルギー対応)を実施しました。消防署など関係機関と連携しながら、よりの確に対応できるようにこれからも推進していきたいと思ひます。

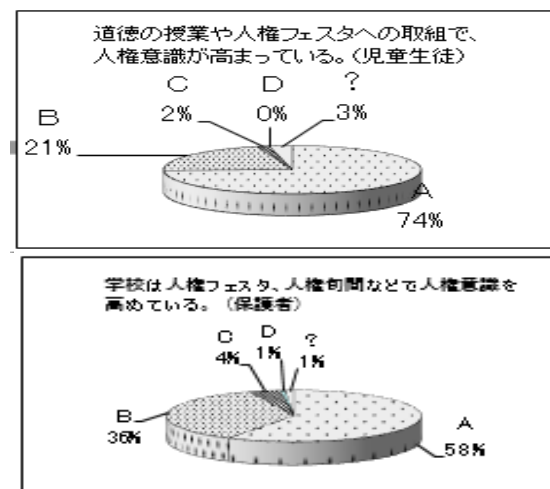
5 小中一貫教育の推進

5・4制による小中一貫教育が今年で5年目を迎えます。保護者の方からは「小中教員による教科担任制、交流授業や合同行事などを組み入れた小中一貫教育に積極的に取り組んでいる」という項目において9割以上の肯定的評価をいただき、小中一貫教育への深いご理解が伺えて大変感謝しております。また、中学校舎で過ごしている6年生児童を含め児童・生徒全体の9割以上が「小中交流授業は有効である」と回答しています。今後、小中の教職員がさらに一体となって、「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」という教育目標実現へ精進していきたいと思ひます。そして、現在、「小中一貫の有効性」を実感しておられる保護者の方の「7割」という数字をさらに高められるよう、学校評議員会や、小中一貫教育運営協議会等でのご意見を参考にしながら、さらに充実させていきたいと思ひています。



6 人権・心の教育

「人権フェスタ、人権週間などで人権意識を高めている(保護者)」の項目では、ほとんどの方が肯定的に回答をしてくださいました。9年生を中心として、児童生徒たちが自分を見つめなおすきっかけになり、地域への啓発活動にもなっているのだと感じられました。また児童生徒たちの「9年生の人権劇、各学年の取組発表」も高評価でした。人権教育に力を入れ、それぞれの学年で年齢に応じた取組を行うことができた結果だと感じています。これからも、道徳学習や様々な行事を通して、思いやりや心の豊かさを培っていき進めていきます。



7 総括

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価アンケートに回答していただきありがとうございました。このアンケートすべての項目に対して検証を行いました。本校の児童生徒は、家庭や地域の方々に支えられ落ち着いた学校生活を送ることができていることを実感しました。そして学習を中心に、仲間とともに学校生活を前向きに取り組んでいる姿を再認識しました。一方、保護者の皆様から来年度に向けた建設的で貴重なご意見もいただきました。肯定的評価はさらに継続できるよう、課題となる項目は原因を追究し解決に向け努力してまいります。

これからも河合の子ども達の良さを大切にしながら、さらに伸ばしていけるよう力を尽くしていきます。今後とも本校教育活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い致します。